記者発表資料　　水資源機構　朝倉市

令和７年１１月２５日
独立行政法人水資源機構
朝倉市

「両筑平野用水管理開始５０周年記念式典」を開催します

水資源機構が筑後川水系小石原川において事業を実施した両筑平野用水事業は、令和７年度に管理開始５０周年を迎えました。

５０年という節目に際し、水源地への感謝を再認識するとともに、これまでの５０年の歩みを振り返り、未来への展望を共有する場として、下記のとおり、記念式典を開催します。

１　開催日時	令和７年１２月７日（日）１０時００分（9時30分受付開始）
２　開催場所	旧甘木・朝倉市町村会館（希声館） 朝倉市甘木８７３－３
３　主 催 者	水資源機構・朝倉市
４　出 席 者	国会議員、県議会議員、市議会議員、国・県関係者、水源地域及び受益地域自治体、両筑土地改良区、利水企業、水資源機構等　約50名
５　式典内容	別紙１のとおり
６　取材について	式典の参加者は招待者（関係者）のみとなっております。 報道関係者で取材を希望される方は、別紙２により事前の申込みをお願いします。

配布先：　国土交通省九州記者会、九州建設専門記者クラブ、
西日本新聞社朝倉支局、毎日新聞社福岡本部社会部、
読売新聞筑紫支局、朝日新聞社福岡本部社会部

問合せ先：　水資源機構　筑後川上流総合管理所　総務課長　松崎
電話：０９４６－２５－０１１３
朝倉市 企画振興部 水のまちづくり課長　阿南
電話：０９４６－２２－１１１１（代表）

別紙１

両筑平野用水（りょうちくへいやようすい）管理開始５０周年記念式典
当日のご案内

令和７年１２月７日（日）

１　受付

９時 30 分～　　受付開始

２　次第

10 時 00 分～

（１）開式
（２）式辞
（３）主催者挨拶
（４）来賓挨拶
（５）来賓紹介
（６）電報紹介
（７）管理の経過・今後の管理
（８）未来へのメッセージ
（９）これからの管理に向けて
(10) 閉式

12 時 00 分～　　記念撮影

※時間については、状況により多少前後する場合がありますので、
ご了承いただきたくお願い申し上げます。

別紙2

水資源機構
筑後川上流総合管理所　総務課 あて
FAX:0946−25−0133

両筑平野用水管理開始50周年記念式典

取 材 申 込 書

下記にご記入のうえ、**12 月 3 日(水)15時 00 分まで**にFAXにてお送りください。

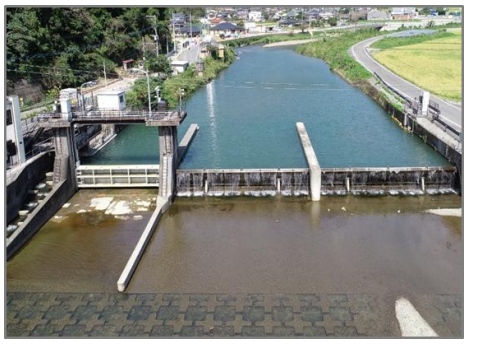
貴 社 名	
連 絡 先	TEL:
取 材 者名 （代表者名）	
取材者人数	
車 台 数	台（車種:　　色:　　） （車種:　　色:　　）
連絡事項	

参考

両筑平野用水のあゆみ

水資源機構
筑後川上流総合管理所

昭和	39 年	水資源開発水系の指定
	41 年	水資源開発基本計画（筑後川水系）の決定
	42 年	両筑平野用水事業実施方針の指示 両筑平野用水事業実施計画の認可 農林省から水資源開発公団が事業承継
	44 年	損失補償基準妥結調印
	45 年	女男石頭首工工事完成（昭和44年着手）
	47 年	江川ダム工事完成（昭和44年着手）
	48 年	甘木橋頭首工工事完成（昭和47年着手）
	49 年	幹線水路工事完成（昭和45年着手）
	50 年	寺内導水路工事完成（昭和47年着手）
		両筑平野用水管理開始
平成	12 年	国営土地改良事業地区調査 （両筑平野用水二期地区）完了（平成7年着手） 県営かんがい排水事業両筑平野地区完了 （昭和42年着手）
	15 年	独立行政法人水資源機構に移行
	17 年	国営土地改良事業両筑平野用水二期地区 全体実施設計完了（平成12年着手） 水資源開発基本計画（筑後川水系）の全部変更
	18 年	両筑平野用水二期事業実施計画の認可
	26 年	県営両筑平野かんがい排水二期事業着手
	30 年	両筑平野用水二期事業完了
令和	2 年	筑後川水系治水協定締結
	5 年	水資源開発基本計画（筑後川水系）の全部変更
	7 年	**両筑平野用水管理開始50周年**



女男石頭首工

江川ダム

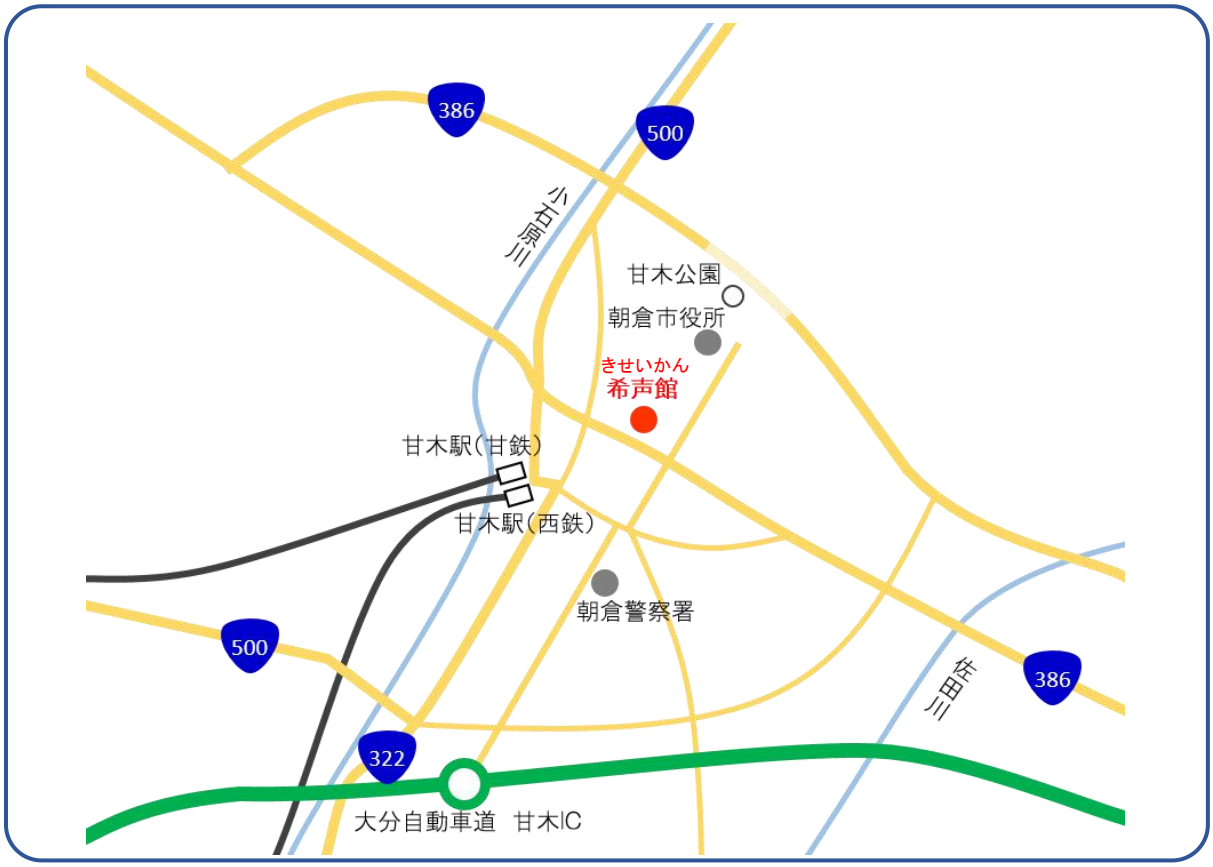
甘木橋頭首工

弥永調整水槽

両筑平野用水管理開始５０周年記念式典　会場案内図

旧甘木・朝倉市町村会館　希声館　〒838-0068 福岡県朝倉市甘木８７３－３

公共交通：甘木観光路線バス（甘木市街地循環線・秋月線・田主丸線）
「甘鉄甘木駅」又は「西鉄甘木駅」で乗車、「希声館前」下車すぐ



拡大図